

講義名	医療経済論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	21047

主題と概要

本科目では日本の医療制度で採用されている「保険」の仕組みに注目して、医療経済学におけるトピックを学習します。はじめに日本の医療制度と国民医療費の推移を概観します。次に、保険の仕組みについて単純な数値例を使って理解したあと、保険があるときの市場の状況をモデルを使って考えます。保険の供給においては供給者と需要者の間に情報の非対称性が存在します。本科目では、日本の公的医療保険を中心として保険に関する問題について学習します。最後に保険に注目しながら医療制度の国際比較をします。

到達目標

以下のトピックについて、現実に採用されている制度、理論的問題および実証研究の結果などについて理解することを目標とします。
日本の医療制度と国民医療費
医療サービスの経済学的特徴
保険の仕組みと公的医療保険
医療制度の国際比較

提出課題

提出課題としてミニレポートを課すことがあります。詳細は授業中に指示します。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
配分は定期試験50%、中間試験40%、平常点10%です。
昨年は履修登録者の86%が定期試験を受験し、その71%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他

難しい点やわかりにくい点がある場合には、オフィスアワー等を利用して積極的に質問をしてください。経済学の入門レベルの科目を修得していることが望まれます。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリント資料を配布します。以下は、本科目の履修において有用な文献です。
漆博雄「医療経済学」東京大学出版会 1998年
池上直己 「ベーシック 医療問題（第4版）」日経文庫 2010年
橋本英樹・泉田信行編「医療経済学講義」東京大学出版会 2011年
河口洋行「医療の経済学（第3版）」日本評論社 2015年

授業計画

- 日本の医療制度の枠組み
- 経済学の考え方(1)資源の希少性と効率性
- 経済学の考え方(2)医療サービスの特徴
- 国民医療費の推移と経済学の考え方 (1) 医療保険制度の推移
- 国民医療費の推移と経済学の考え方 (2) 日本の国民医療費の対国民所得比
- 保険の仕組み (1) 保険とは
- 保険の仕組み (2) 医療保険と逆選択、モラル・ハザード
- 中間試験、復習
- 公的医療保険 (1) 公的医療保険への強制加入
- 公的医療保険 (2) 保険の機能、プーリング均衡
- 公的医療保険 (3) プーリング均衡から分離均衡へ
- 公的医療保険 (4) 社会保険方式のメリットデメリット
- 医療制度の国際比較 (1) 医療制度の比較
- 医療制度の国際比較 (2) 各国制度の概要
- 医療制度の国際比較 (3) 制度の視点別の各国比較

予習・復習

授業後、復習をしてください。1回の授業で4時間が目安です。

備考